

英語力がほとんどゼロでも

外国人と話したことがなくても

英語を10年間勉強しても外国人と話す勇気がなくても

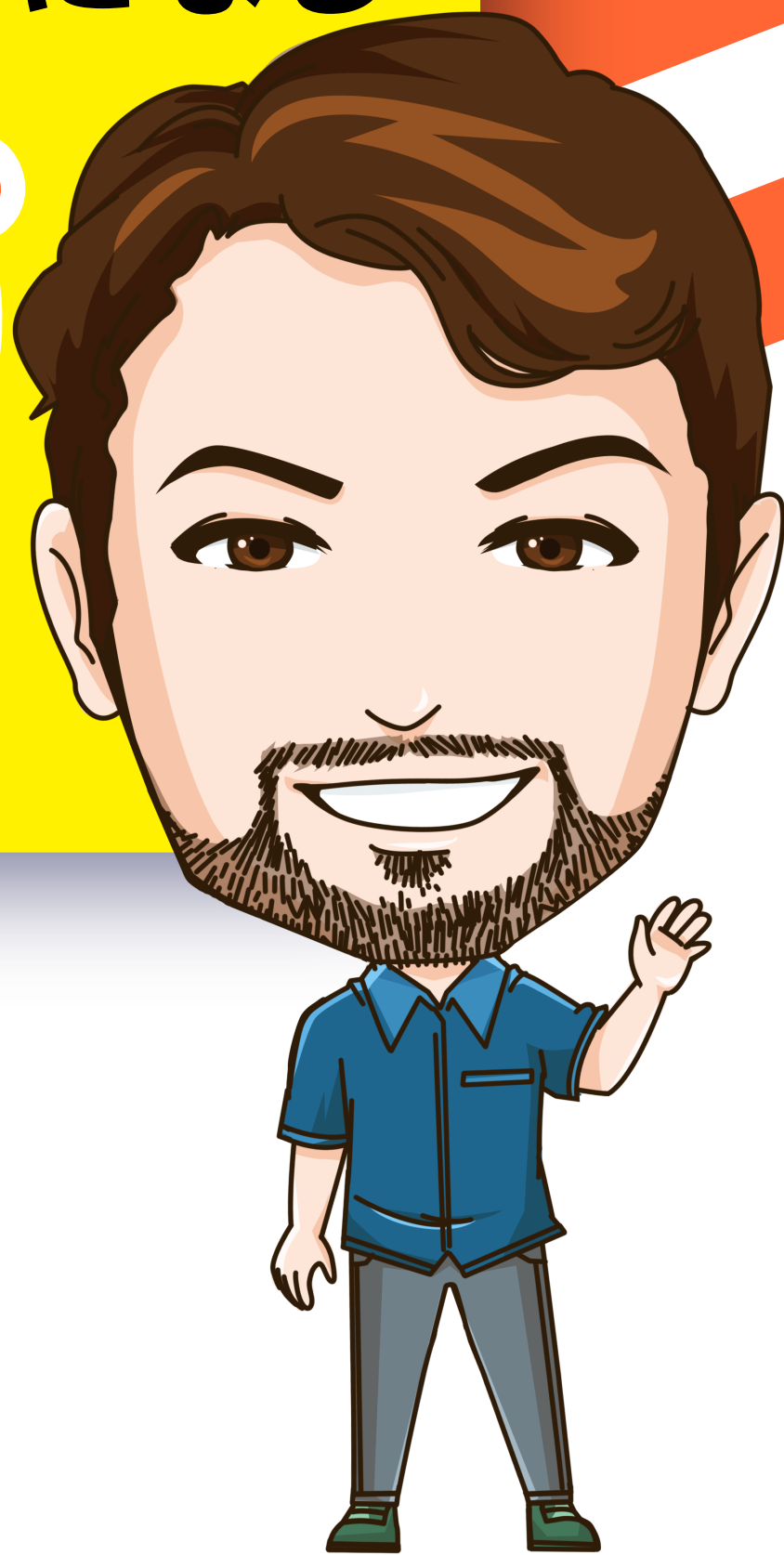
日本人がやっと教室から解放され

リアルで外国人と英語を  
実際に話せるようになる

22の  
ステップ

アーサー・ゼテス

 IU-Connect



# A Note from the Author

こんにちは！

IU-Connect (ユーコネクト)の創立者の  
アーサー・ゼテスと申します。

いくらたっても話せない従来の英語教育をやめ、毎月数万人の日本人の方が英語を実際に使えるようにYouTubeチャンネル、ポッドキャスト、コラム、メルマガを通してサポートさせていただいております。



このe-bookをダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

あなたが今読んでいるこのe-bookは、6年間に渡って行なった、

100人以上の日本人との研究の成果です。この中に誰でもできる、英語が実際に話せるようになるカギが入っています。

内容がたくさん詰まっておりますので、全部を一気に読む必要はございません。ご自由に、あなたの興味に沿っているところをぜひご覧ください。少しでもあなたのお役に立てたら、とても嬉しいです。

いつも応援しております！



Arthur Zetes

# 目次

1	日本人が英語を学んでも、 話せるようにならないのはなぜ？	2
2	1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、 日本語が話せるようになった経験	11
3	Step 1：英語に対する考え方を变える	19
4	Step 2：リアルで使えるようになる練習をする	29
5	まとめ	37
6	自分の英語学習から補助輪を外しませんか？	39
7	次のステップ	42

# 日本人が英語を学んでも、 話せるようにならないのはなぜ？

英語を学び始めたとき、どんな夢がありましたか？

洋画を字幕なしで観ること、洋楽を聴くだけで歌詞が理解できることはもちろんですね。もしかしたら、何より世界中の方々と話したい！という夢があったかもしれません。

お互いの文化をシェアしあったり、自分の視野を広げたり、より刺激的な人生を送りたいと思ったのです。

日本だけではなく、世界と繋がり、活躍したかったのです。

以前は、外国人と話すために英会話教室に通うか海外に行く必要がありました。でも今は、外国人と話す機会が今までで一番手に入りやすくなっています。

## 日本の変化がきっかけ、 世界が日本にやってくる！

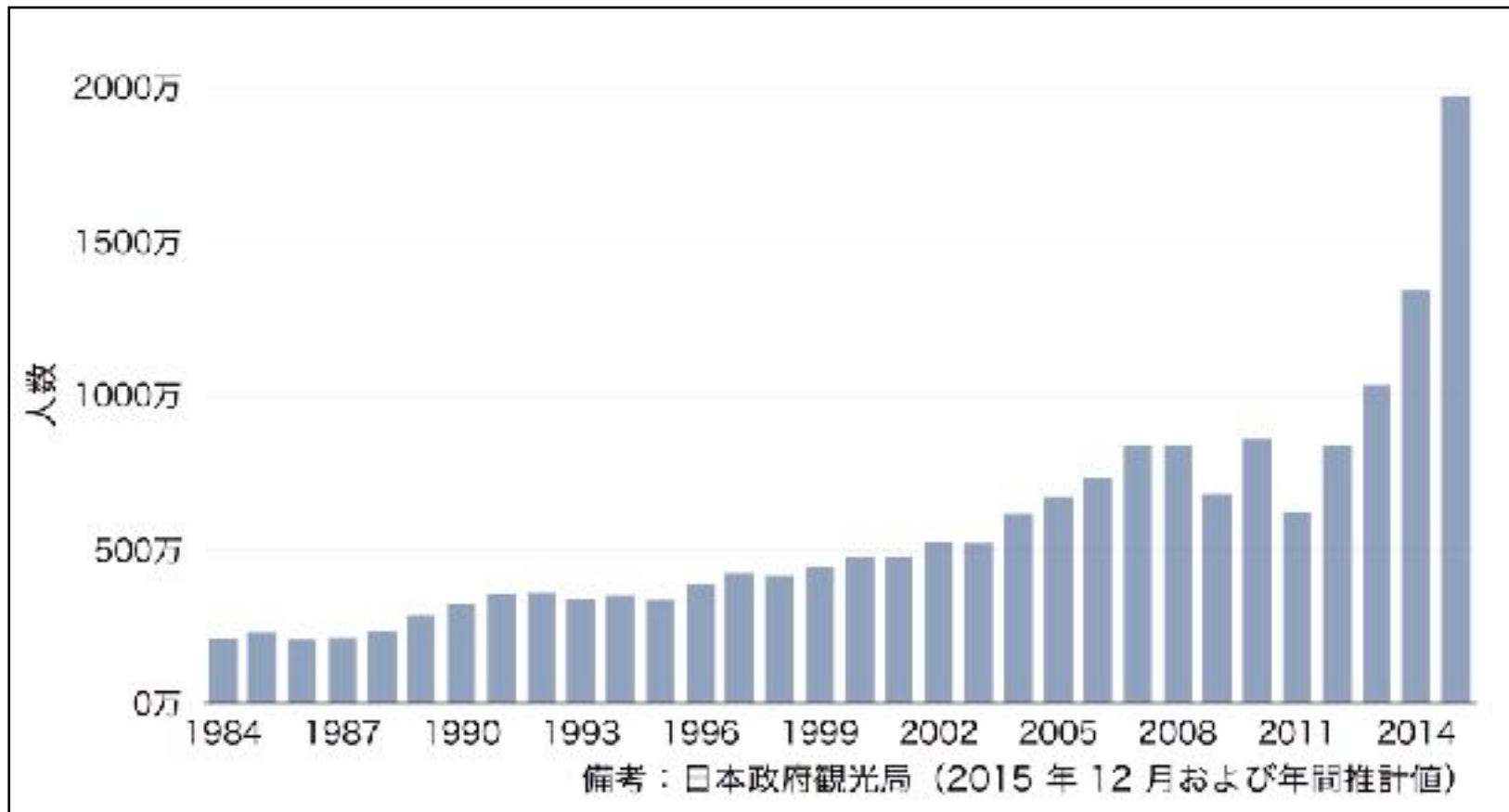
2013年に、2020年の東京オリンピックの決定が世界中に告げられました。

2020年に、世界中の人々が日本にくることになりました。でも2020年まで待つ必要はありません。

今まで外国人があまりいなかったところでも、外国人を頻繁に見かけることが増えてきました。

# 日本人がやっと教室から解放され、 リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

## 1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？



2013年から2015年の2年間で、来日外国人が197%増え、2015年以降もさらに増え続けています。

つまり、世界諸国の中から日本を選んだ方、日本の文化を体験したい方、日本の現地の方と触れ合いたい方、あなたと話したい方がもうすでに2倍以上に増えています。

世界とつながる絶好のチャンスですね！

## 英語を学んでも、 話せるようにならない日本人の問題

このような夢を持って、このような機会を活かすために、英語を改めて真剣に学び始めます。

その夢を叶えるサポートするコンテンツが本当にたくさんあります。

書店で見かける英語学習テキストがどんどん増えています。電車に乗るたびに英会話スクールの広告を必ず見かけます。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？

- 英語学習動画なら英語教師を数百人の中から選べる
- 刺激的な英語学習ポッドキャストもいつでも聞ける
- 1日1フレーズ英語学習メルマガならどこにでもある
- 英語学習ブログのランキングさえ数えきれないほど増えている

オンライン英会話サービスも多すぎてどれがいいか迷ってしまう

この史上最多のコンテンツを活かして、楽しみながら一生懸命勉強している日本の方々も本当に多いです。

ネイティブのフレーズや使いやすい文法を学んで、「**すごい！面白い！**」「**なるほど！これ、使えそう！**」と思うことも毎日のように経験しています。

外国人との会話をイメージしながら自分でフレーズを口にして練習したり、シャドーイングもやったりします。「なんか、英語を話せてる！」という実感もしてきます。

そしてある日、外国人を見かけます。外国人と話す機会があります。

今まで学んだ英語を実際に使えるチャンスです！

でも話そうとしたら・・・

心臓がドキドキ。頭が真っ白。どうしても言葉が出てきません。

顔が赤くなり、汗をかき始めます。「**やばい！どうしよう！？**」

「**なんとはいいいんだらう？**」「**もし変なこと言っちゃったら？**」

「**迷惑をかけたらどうしよう！？**」と思って、せっかくのチャンスを逃してしまいます。

でもこの後、不思議なことがよく起こります。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？

外国人がいなくなった瞬間に、言いたかったことがすぐに頭に浮かんでくるのです。

**「えっ、こう言うはずだったのに！」**

**「やっぱり英語力が足りないな、もっと勉強しなきゃ」**

とがっかりして、英語学習に戻ります。相変わらずネイティブが使えるフレーズを学び続けます。

でもいつになったら、外国人と実際に話せるようになるのでしょうか？

道案内をどう学んでも、会話をどれだけ練習しても、

**いざとなると、言葉が出てこない**

外国人と実際に話してみる勇気が湧き上がらないままです。

そしていつの間にか、やる気がどんどん下がってきます。

「結局、英語を実際に話せるようになるのは、私には無理かな？」

とあって、以前の情熱がなくなっていきます。

YouTube動画を見続けたり、メルマガを読み続けたりはするのですが、

教室ではなく、リアルで外国人とつながる幸せを体験できません。

これは、珍しい話ではありません。実は、英語を学んでいる多くの日本人の方は、このような経験があるのです。

**こんなひどい問題がなぜ起きるのでしょうか？**

## 英語を学んでも、 話せるようにならない日本人の問題

数年間と数十万円をかけて一生懸命英語を勉強しても、外国人と話せるようにならないのは日本人だからではありません。日本の文化が原因でもありません。

原因は日本人ではなく、今まで教わってきた英語学習法なのです。

今の日本に合わない、古い勉強法です。

この勉強法で学び続ければ続けるほど、外国人と実際に話しづらくなってしまいう勉強法です。

より良い勉強法があります。教室から解放される勉強法です。

外国人とすぐに楽しく、自然に話せるようになる勉強法です。

世界とつながる勉強法です。

この勉強法を活かして、以上のことをできるようになった方がもうすでにたくさんいます。

カフェで見かける外国人の友だちと笑顔でおしゃべりしている日本人です。道に迷っている外国人を優しく案内している日本人です。外国人の相手と楽しく歩き回りながら笑ったり、日常生活をシェアしたりする日本人です。

悩むことなく、すごく楽しそうだと思いますか？

そのような方を「コネクター」と呼びます。

なぜなら英語の単語、フレーズを学ぶだけではなく、

英語を通して外国人と話して世界と繋がっているからです。

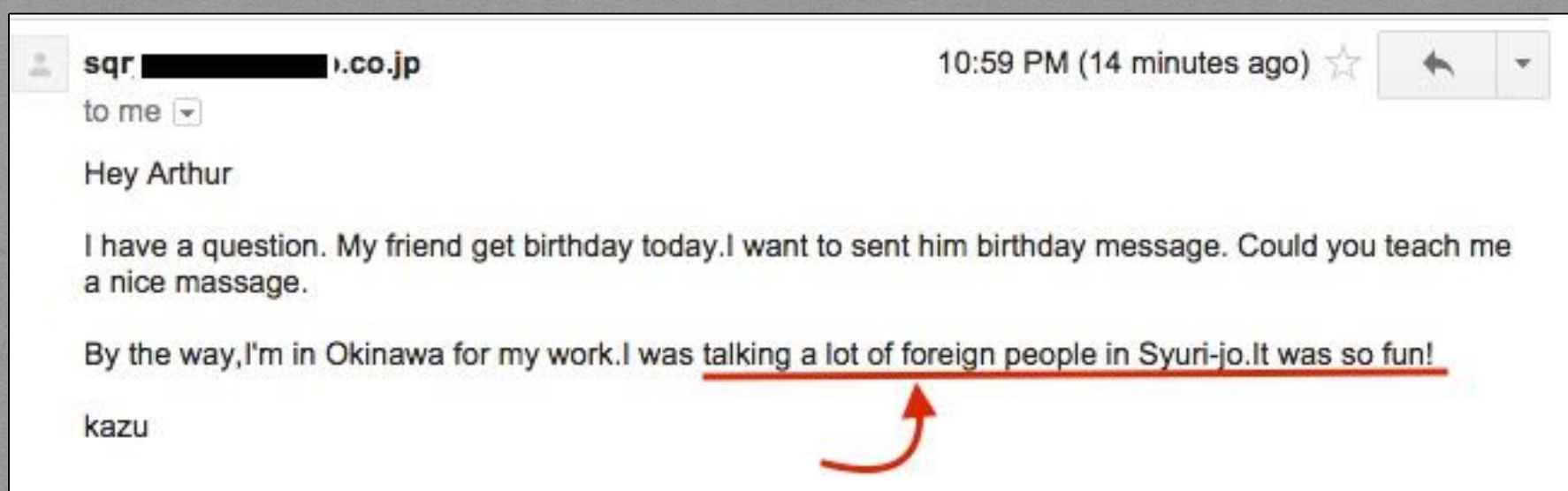


日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？

## コネクター

英語を学ぶだけではなく、  
英語を使って、世界の方々とコネクトし、  
豊かな人生を送る日本人



訳：アーサー、質問があります。友達の誕生日に、お祝いのメッセージを送りたいです。教えてもらえませんか？ところで仕事で沖縄に来ています。首里城でたくさんの外国人と話しました。とっても楽しかったです！

## コネクターになる2つのステップ

カズさんのようなコネクターと話せるようにならない人はどんなところが違うのでしょうか？どうやって教室を卒業してリアルで外国人と話せるようになったのでしょうか？

英語が得意だったわけではありません。コネクターの人は中高生の時は英語が苦手だった人がとても多いです。

海外に住んだことがあるわけでもありません。海外旅行にもそんなに行っていない人もいます。

大きく違う点は、

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？

従来の古い英語勉強法をやめて、

**斬新な2つのステップ**で英語を学び始めたことです。

この2つのステップは日本の従来の英語教育に慣れている方々には少し意外なことかもしれません。学校や英会話スクールで教わる方法とは真逆な方法なのです。

でも効果があります。心理学やネイティブの感覚に基づいた方法だからです。

その2つのステップは：

**①今までと違う考え方で英語を学ぶ**

**②学んだ英語をリアルで外国人と話せるようになる練習をする**

ということです。

英会話に数年通う必要はなく、フレーズや文法をたくさん覚える必要もありません。

英語を数年かけて勉強したとしても、英語で良い点数が取れなかったとしても、外国人と話すことをイメージするだけでドキドキしてしまったとしても、従来の英語勉強法をやめて、この2つのステップに従えば、

**新しい自分に出会うことができます。**

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1. 日本人が英語を学んでも、話せるようにならないのはなぜ？

今度外国人を見かけるとき、

もう「話しかける前にもっと学ばなきゃ」と思ってスルーすることはありません。

自信を持って英語で自然に話しかけられます。あなたの日常生活でも外国人と気軽に話すことで、自分の視野が毎日広がっていきます。

日本で困っている外国人を見かけたら、すぐに助けてあげられます。

あなたも英語を実際に使えるようになるコネクターになります。

## コネクターの 青木景子

だいぶ外国人に慣れてきた

だいぶ外国人に慣れてきて、リラックスした雰囲気話せるようになりました。

リラックスした雰囲気が相手に通じるのか、

今日は外国人のほうからたくさん話しかけてきてくれました。

次のステップもこの調子で頑張りたいです！



僕のことをご存知でない方も多いと思いますので、自己紹介させてください。僕の経験があなたの励ましになったらとても嬉しいです。

僕の経験をすでにご存知の方、もしくは早速2つのステップを知りたい方はぜひ、Step 1(Page XX)へ移ってください。

## 1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、日本語が話せるようになった経験

日本語、フランス語、スペイン語を話せるので、外国語を話せることによって視野が広がること、世界中の方々とコネクトすることを自分自身で毎日体験しています。

今は日常生活で日本語を問題なく使っているのですが、ずっと前から話せたわけではありません。

実は、日本語を勉強して最初の4年間は全く話せなかったんです！小さい頃は漫画家になりたいという夢がありました。

そのために、漫画の才能以外に日本語力が必要でした。

日本語を学び始めて、次第に日本の文化や歴史を知り、どんどん惹かれていきました。

同じ人間なのにアメリカの文化と完全に違い、とても興味深く思いました。

それから日本語学習に全力を注ぎました。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、日本語が話せるようになった経験

最初の4年間、毎日2時間ほど日本語  
を勉強してテキストを17冊買ったり

ポッドキャストを週2本聴いたり

日本留学生とのマンツーマンレッスンを  
週1回2時間ずつ受けたり

していました。

毎日新しい漢字、フレーズ、文法、  
会話を全て勉強していました。



ですから先生の大阪の実家に1ヶ月間のホームステイに誘われた時には  
とてもワクワクしていました！今まで学んできたことをやっと教室ではなく、  
本番で使える機会が間もなく訪れると思ったからです！

ホームステイの準備のために勉強をさらに頑張りました。日本での日常生活  
で使える、より実用的なことを学び始めました。

ボストンから日本までの便の15時間をほとんど日本語学習にかけました。  
漢字の練習をしていたらCAにも褒められました！

そして、飛行機が日本に到着。

ドアが開き、飛行機を降りました。

空港に入り、エスカレーターを降りました。

荷物を取り、先生の家族が待っている出口へ行きました。

一歩ずつ歩くたびに、心臓のドキドキが激しくなりました。  
同時にワクワクもしました。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、日本語が話せるようになった経験

「変なことを言っちゃわないかな？」 「良い印象を残せるかな？」

「僕のこと気に入ってくれるといいな」

出口を出て左を曲がったら、間もなくホストマザーになる先生のお母さんの姿が見えました！

「夢じゃない。これから本番だ！」心からそう感じました。

笑顔で、口を開けたら

**「んーっ、クニーチワー。アーサーデス・・・(汗)」**

他に何も言えなかったのです。顔が赤くなり、汗をかき始めました。

**「やばい！なんとはいいいんだろう！？」**

帰りのドライブは思ったより静かでした。

「アーサー、・・・」とホストマザーに聞かれたら、頭から足まで緊張が流れました。自分の思っていることをそのまま伝えなかったのですが、

片言でしか話せませんでした。

車を出て家に入ったら、リビングにとっても豪華な食事が用意してありました。



すごく美味しかったです！

感謝の気持ちを英語で伝えなかったし、ホストマザーに喜んでもらいたかったです。

でも

片言の単語しか出てきませんでした。

今でも、ホストマザーの料理が今まで食べた中で一番美味しい料理だと思っています

その日は、人生の中で一番辛い日のうちの一つでした。

「今まで何をやってたんだろう!？」とベッドの上で仰向けになりながら考えていました。

「4年間学んだのに、一体なんで話せなかったんだろう?」

「僕はもう、日本語を話せるようになるなんて無理じゃない?」と思いかけていました。

何かを変えないと・・・

## 僕の日本語が自由になった2つのステップ

でもアメリカに帰るまでまだ1ヶ月ほど残っていました。

日本語は話せなかったのですが、おかげさまで僕に日本の文化をシェアしたいと思ってくれた家族がそばにいました。

そのわずかな4週間で、不思議なことが起こりました。

もちろん間違いはたくさんあったのですが、ホストファミリーと友人とコミュニケーションを取り始めました。

すると少しずつ、会話力が身についてきたのです。

それから3週目で、信じられない体験をしました。

リビングの食卓で先生と先生の友人と3人でおしゃべりをしていた時のことです。

相手は笑っていました。なぜかというと、僕が冗談を言ったからです。しかも日本語で!

そこで実感しました。

「本当に日本語を話せてる！単語やフレーズではなく、実際に会話ができる！コミュニケーションも取れてるし、冗談も言えた！！」

4年間勉強しても全く話せなかった僕なのに、ほんのわずかな3週間という期間だけで、会話ができるようになりました。

何が変わったのでしょうか？

僕が変わったわけではありません。急に頭が良くなったわけでもないんです。

変わったのは、勉強法だったんです。

その経験を振り返ると、日本語を勉強しても話せなかった原因が2つありました。

### ①日本語の本来の目的を意識していなかった

フレーズや文法をたくさん学んでいました。

でも、日本語の本来の目的を意識していなかったのです。ですから学んだことがリアルな場面と繋がらず、使えるようにならなかったんです。

そのため、リアルで使えるようになる考え方を身につける必要がありました。

### ②リアルで実際に話せるようになる練習をしていなかった

今までの練習法は全く効果がありませんでした。口に出してはいたのですが、生の場面でのリアルなコミュニケーションに慣れていなかったのです。

生の場面に慣れ、すぐに話せる練習法が必要だったんです。



日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、日本語が話せるようになった経験

この2つの問題を解決したことが、日本語でアイデアを交換したり、  
冗談を言って一緒に笑ったりするきっかけとなったのです。

でも変わったのは、日本での生活だけとは限りません。

4週間が終わって帰国してからも、日常生活が大幅に変わりました。

日本語がだいぶ上達したので、

日本語の授業で一番上手な生徒になりました。

それだけでなく、今でも仲良しの日本人の友達もたくさんできました。

日本に留学したら外国人留学生ではなく、現地の日本人と一緒に時間を過  
ごせて問題なく日本語で暮らせるようになりました。

でも何より幸せなのは、妻になる女性に出会ったことです。

その2つのステップは、自分の人生を劇的に変えました。



## 日本の英語教育の呪縛から解放される手段

2013年に東京に留学したとき、個人でマンツーマンレッスンをやっていた。

そこで、日本の英語教育問題に初めて気づきました。

YouTube動画ではどのチャンネルでもフレーズや文法を教えていました。

英会話スクールのマンツーマンレッスンは1時間1万円以上という相当な金額なのに、

僕が日本語を学び始めた頃の効果のない勉強法と全く同じだったのです。

結果として、僕の生徒さんは昔の僕と同じ問題を抱いていました。

数年かけて勉強したから授業中や講師となら話せました。

でもいざとなると、言葉が出てこないまま。

どう学んでも、英語を使えるようになりませんでした。

ですから従来の英語教育で教わる勉強法を教えるのではなく、

先ほど紹介した2つのステップを教えてみました。

すると僕と同じく、劇的な変化を経験したのです。

片言でしか話せないとしても、もうすでにペラペラ話せたとしても、

元の「英語力」は関係ありません。

どんな生徒でもこの2つのステップを実践してみることで、外国人と楽しく話せるようになり、世界とつながることができました。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

1040日間勉強したのに話せなかった僕でさえ、日本語が話せるようになった経験

今から、あなたはこの2つのステップへアクセスできます。

英語を片言でしか話せないとしても

5年以上勉強しても全く話せないままだとしても

外国人と話したことがないとしても

外国人と話すことをイメージするだけでドキドキするとしても

この2つのステップを本気でやってみると、英語をスムーズに、自信を持って、外国人と実際に話せるようになります。

他の人は授業でしか英語を話せず、一方あなたは外国人に直接英語を教わることができます。

他の人は外国人と楽しく話している日本人を見て羨ましくなりますが、一方あなたはその楽しく話している日本人になります。

他の人は外国人と話すことを夢でしか経験できないのですが、あなたは毎日大きな世界を経験していきます。

あなたはコネクターになるのです。

2つのステップに入る前に、約束をしましょう。

このガイドを読んで終わりの英会話レッスンにしないでください。

ぜひ、このガイドで学ぶことを実践してみてください。

**実践してみると、この2つのステップの「魔法」を経験できるはずです。**

よし！一緒に頑張りましょう！

コネクターになるための第一歩を、今から一緒に踏み出しましょう。

## コネクターの 文田牧人

その人はメルボルンでツアーコンダクターをやっていること、今日はグループで来ているが別行動をしていること、昨日はディズニーランドに行ってきた疲れたことなど、iPhoneの写真を見せながら話してくれました。

私もお返しにiPhoneの写真を見せながら自分のこと、その他いろいろ話すことができました。

アーサーの言うとおりに話す内容のすべてが分かったわけではありませんが会話を続けることはできました。そのうち彼女のグループが集まってきたので、お勧めの会話までには至りませんでした。別れの際の誉め言葉と挨拶はしっかり言って別れることができました。

彼女の表情もすごくうれしそうだったので、ほっとしました。4人との会話が課題だったのですが、10分くらいは話していた（と思う）ので疲れ果ててそのまま帰りました。

しかし、今日は私の人生の中で初めて英語だけで(ブロークンでしたが)10分以上会話のできた記念すべき日となりました。

## Step 1：英語に対する考え方を变える

従来の英語教育の英語に対する考え方が誤っていて、  
効果が全くありません。

コネクターになるために、

英語に対する異なるマインド（考え方）が必要です。

**従来の英語教育：  
英語は単語や文法を正しく使うこと**

従来の日本の英語教育は最終目的が1つです。

英語を間違えないことです。

「英語」が数学のように、ちゃんとルールがあり、ルールを破っちゃいけないというマインドがとても強いです。

中学、高校では文章が「○」か「×」か判断され、点数が付けられました。

自分の英語力は数字で評価されたわけです。

大人になってTOEICを受けます。答えが正しいか正しくないか添削され、  
自分の英語力がスコアに縛られてしまいます。

でも英語って数字で表すべきものではありません。

英語はアクションなんです。

英語は、世界諸国の言語と同じく、

本来の目的はコミュニケーションを取ることです。

コミュニケーションとは一体どういうことでしょうか？

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 1：英語に対する考え方を变える

自分の中のイメージ、情報、気持ちを相手に伝えることです。

このイメージ、情報、気持ちを「メッセージ」と呼びます。

この心の中のメッセージが相手に伝わるように、英語が存在しています。

ネイティブスピーカーはあなたの英語が正しいかどうか気にしていません。気にしているのは「伝わるかどうか」ということです。

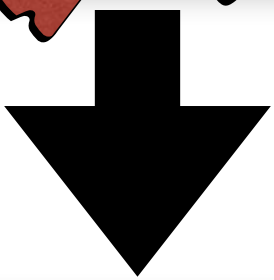
なので勉強するとき「この英語が正しいかどうか」は関係ありません。

重要なのは「伝わっているかどうか」ということです。

従来の英語教育：  
英語は単語や文法を正しく使うこと



コネクターになる考え：  
英語はコミュニケーション



学ばなければいけないのは従来の「英語」ではなく、

リアルで使える「**英語コミュニケーション**」（英コミ）です。

では、「メッセージを伝える」英コミをどうやって学べるのでしょうか？

ここにまた、よくある落とし穴があります。

## 従来の英語教育： 英語を学ぶとき、フレーズや文法を学べば良い

ホームステイをしたとき、ホストファミリーのお兄さんの誕生日がありました。その時に食べたケーキが食べきれなくて余っていました。

2日目に、僕はテーブルで日本語を勉強していました。そこでホストマザーに話しかけられました。

「アーサー、ケーキがまだ残っているよ。」

お母さんが言ったことがしっかり理解できました。言われた単語をそれぞれ理解しました。

でも単語の表面的な意味しか考えていなかったです。なので

「うん、いいね」

と答え、勉強に戻りました。

数分後に、また話しかけられました。

「アーサー、ケーキがまだ残っているよ。」

「うん、おかしいな、もうすでに一回言われたんだけどな」と思って、

「うん、わかった」と返事して勉強に戻りました。

## 従来の英語教育： 英語を学ぶとき、フレーズや文法を学べば良い

お母さんの笑顔が薄くなり、もう一度、今度はストレートに言いました。

「アーサー、腐るから食べてくださいね」って

そこで、やっとわかりました。

お母さんが言った単語の意味は「ケーキがある」ということだったのですが、

その単語を通して伝えたかったメッセージは「このケーキを食べてください」

ということだったんです。

僕は単語の意味に集中しすぎて、逆にコミュニケーションが全くできなかつたんです。

オンライン動画やテキストを観ると、どんなトピックスがありますか？

「『よろしくお願ひします』って英語でなんていうの？」

「『How's it going』の使い方は？」

「『Buzzkill』ってどういう意味？」

などのフレーズの意味や使い方、発音などをしっかり教えてください。

とても便利・・・に見えるんですね。



## Step 1：英語に対する考え方を变える

実は、こういうレッスンでは

本当の「英語コミュニケーション」を学べません。

なぜかというとな英語の言葉だけにフォーカスしてしまうからです。

単語や文法だけにフォーカスすると、コミュニケーションが逆に取りづらくなる場合がたくさんあります！

### 英コミは単語だけではなく、言葉＋○○

コミュニケーションには要素が2つあります。

#### ①伝えたいメッセージ

#### ②そのメッセージを伝えるための手段（言葉など）

英語を話すことは言葉を口から出すことではありません。

言葉を使ってメッセージを伝えているのです。

場面、相手の声調、表情、態度により、同じ言葉なのに伝わるメッセージが変わることがとても多いのです。

「このフレーズは英語でなんていうの？」

「この英語のフレーズはどういう意味？」

「このフレーズの使い分けは？」

という従来の英語教育の考え方から卒業しましょう。

この考え方は、英語を豆知識として暗記するには良いのですが、英語を通して人と繋がることはできません。

コミュニケーションを取れるようになるために、表面的な言葉から言葉の裏にあるメッセージに重点を置かなければいけません。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 1：英語に対する考え方を变える

英語を学ぶ前に、以下の質問を自分に問いかけます。

1. どんな場面でどんなことをやりたいか
2. 相手にどう思って欲しいか
3. 相手にどう感じて欲しいか

英語は単語や文法ではなく、

アクションなんです。

こういう風に考えたり、先生に質問したりすると英語ではなく、コミュニケーションを学べるようになります。

しかも、直訳のない普段とても説明しづらい日本語をととても簡単に英語にできます。

A: 「よろしくお願ひしますって英語でなんていうの？」

B: 「??」

A: 「あっ、ごめん。自己紹介を締めくくるときになんと言うの？」

B: 「Thanksもしくははnice to meet youと言ひます。」

A: 「お疲れ様ですって英語でなんて言うの？」

B: 「??」

A: 「あっ、ごめん。仕事が終わって職場を出る時の挨拶はなんと言うの？」

B: 「Good work guysまたはsee you laterと言ひます。」

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 1：英語に対する考え方を変える

あなたはもう辞書に載っている、表面的な意味に縛られません。  
英語はもう暗記するだけで終わる「豆知識」ではなくなっています。  
学ぶ「科目」でもなくなっています。

英語は世界の方々と交流できる「ツール」です。  
英語で伝えられるメッセージが増えれば増えるほど、  
英語をだんだん自由に話せるようになります。自信が湧き上がります。  
自分の生活の中で新しい自由も感じることができます。

**従来の英語教育：**  
英語を学ぶとき、フレーズや文法を学べば良い

**コネクターになる考え：**  
英語を学ぶとき、英語で伝えたいメッセージ、  
英語でやりたいことを学べば良い

コネクターになるための第1のステップ  
「正しいかどうか」ではなく、  
英語で伝えたいこと、  
やりたいことができる方法を学ぶ

## コネクターの 更科みゆき

meetupの甘酒を使った料理のイベントに参加してきました(\*^^\*)

実はmeetupのイベントはこれで3回目ですがやっと満足に外国人の方と話せたー！という感じです(n´∀` )n

私のグループでは2：2に分かれて作業をすることになり私のペアの方はイタリアの男性の方でした。

出身はどこ？仕事は何をしてるの？このイベントには参加したことある？料理する？などなど、たくさん話せました。

『甘酒は飲んだことがある？』と訪ねると『昨日お祭りで飲んだよ！』と言って、お祭りの写真を見せてくれました。

料理が完成すると、彼の方から一緒に写真を撮ろうと言ってくれ嬉しかったです！

いざ食べる時間になると他のメンバーの方も一緒になって『美味しい！』とか『辛いもの・甘いものが好き』とか話題は尽きませんでした。

レッスンの最後には希望者は甘酒を作って持ち帰ることが出来たのですがその際、両隣が外国人の方だったので麴とお湯が合わさってブクブクするのを見て

私は料理や食べることが大好きで、英語で日本食のことを紹介したり、美味しさを一緒に共有することが夢です。

## Step 2 : リアルで使えるようになる練習をする

Step 1 はインプットについてです。

どんな情報を学ぶべきか、学ぶべきではないかです。

でも「情報取得」だけだと、英語を実際に使えるようになるわけではありません。

その情報をスムーズで自然なアクションにする必要があります。

そうすれば、英語を実際に使える機会があったら、そのチャンスを逃さずに英語をすぐに話せます。

でもどうやってそれができるのでしょうか？

### 従来の英語教育： 英語を口にすれば、話せるようになる

英語を実際に使えるようになるカギは、自転車にあります。

今のあなたは自転車に自由に乗れると思います。でも生まれてからすぐに自転車に乗れたのでしょうか？

違いますよね。自転車に乗るスキルを身につける必要があったはずです。

では何をやって、自転車に乗れるようになったのでしょうか？

自転車練習のための動画を見たからではなく、取り扱い書を読んだからでもなく、友達に色々相談したからでもないはずです。

## 日本人がやっと教室から解放され、 リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

### Step 2：リアルで使えるようになる練習をする

自分の足でペダルを踏み、乗ってみたからです。

最初はきっとラフだったし、あまり自然にできなかったと思います。

「まずは足をここに・・・ハンドルを握って・・・ここを曲がり・・・」

グラグラしながら、数メートルしか乗れなかったり、転んだりしたかもしれません。

でもあなたは立ち上がり、また乗ってみたんですね。

するといつの間にか、よりスムーズに乗れるようになりました。

数メートルではなく、数十メートル乗れるようになりました。

直感で曲がったり、傾いたりして考えずに乗れています。

自分の体で、ある動作を繰り返すと脳の構成が変わってきます。その動作を繰り返しやすいようになるように、脳細胞のパターンが変わるのです。

ですから1回目にある動作をするときは少し違和感があるのですが、100回目になると考えずにできるようになります。

この現象は「マッスルメモリー」（筋肉記憶）と呼びます。

英語をスムーズに話せるようになるにも、「マッスルメモリー」が必要です。

自転車と同様、英語の「マッスルメモリー」を鍛える方法はたった1つです。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 2：リアルで使えるようになる練習をする

実際にやってみるしかないのです。

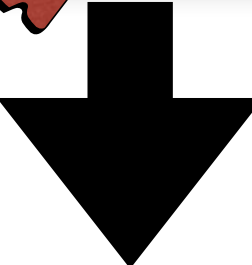
英語は「コミュニケーション」なので、

英語のマッスルメモリーを鍛えるために、コミュニケーションを取らなければいけません。

発音の練習ではなく、シャドーイングでもなく、自分で会話をすることでもありません。

人と直面して実際にコミュニケーションをやってみるのです。

  
従来の英語教育：  
英語を口にすれば話せるようになる

  
コネクターになる考え：  
英語でコミュニケーションを取れば、  
英語を話せるようになる



では、マッスルメモリーを鍛える選択肢は何があるのでしょうか？

従来の英語教育によると、マンツーマンレッスンが一番良いと言われています。

その理由がよくわかります。ネイティブと直面して、安全で落ち着く環境でコミュニケーションを取っているからです。

でも残念ながら、これもとても大きな間違いです。

## 従来の英語教育：会話力を鍛えるために、 マンツーマンに通えばいい

多くの場合、最初は補助輪を付けて自転車に乗ることが多いです。

だって、転ばずに安心して足の動きが練習でき、ハンドルの持ち方にも慣れることができます。

しかも、ペダルを踏んで前に進むこともできます。補助輪なしの形にとても似ています。

でもその補助輪をとってみると・・・

ドン！

また転んじゃいます。

補助輪は一見良さそうですが、実際はあまり効果がありません。

足の動きに慣れながらも、自転車に乗るために最も重要なことを鍛えられていないのです。

Step 2：リアルで使えるようになる練習をする

バランスです。

英会話のマンツーマンレッスンと一緒にです。

数年かけてマンツーマンに通い、

会話に慣れ、楽しく盛り上がる時があるかもしれません。

英語でコミュニケーションが取れているし、うまくいっているし、  
英語力が上達していると実感できるかもしれません。

でも教室を出て外国人に話しかけられたら、どうなるのでしょうか？

以前と変わらず、頭が真っ白。心臓がドキドキしてしまい、

言葉が出てこないままです。

マンツーマンにどれだけ通うとしても、多くの日本人はリアルで外国人と  
話せるようになるコネクターにはなれません。

ネイティブと話しているのに、それはなぜでしょうか？

マンツーマンレッスンは口の動きに慣れるかもしれません。会話の流れ、  
基本的な構成にも慣れるかもしれません。

でもリアルのコミュニケーションにとっても重要なスキルは鍛えられないの  
です。

マンツーマンレッスンの会話とリアルの会話の比較表をご覧ください。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 2：リアルで使えるようになる練習をする

マンツーマンレッスンとリアルの会話の比較

	マンツーマンレッスン	リアルの会話
会話の相手	先生やプロ	様々
相手が話す動機	仕事（お金を稼ぐ）	最初はない
会話の誘導	先生	自分
会話を始める人	先生	自分
トピックの決断	先生	自分
会話の環境	静かで集中しやすい	様々（うるさい、人が多い場所）
相手の話し方	わざとゆっくりして分かりやすく	早くて聞き取りづらい
会話のタイミング	事前に決まっている	自分で読まなければいけない

リアルのコミュニケーションに必要なのに、マンツーマンレッスンで身につけられないスキルがたくさんあるんですね。

1. 話しかけるタイミング
2. 会話の始め方
3. 会話を続ける方法
4. 相手と仲良くなる方法
5. 会話を締めくくる方法

他にもたくさんあります。

マンツーマンレッスンで練習して、フレーズをスムーズに言えるようになるかもしれません。

でもフレーズを言うだけではなく、  
実際の会話で使ってコミュニケーションを取れるようになるには、  
方法は1つしかありません。

外に出て、教室やサークルの環境ではなく、  
生の場面で外国人と話してみることです。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

Step 2：リアルで使えるようになる練習をする

最初は怖いかもしれません。

でもリアルなコミュニケーションに少しずつ慣れ、少しずつ「バランス」を鍛えます。

それでいつの間にか、会話が自然と盛り上がります。

「英語が話せる！」とやっと実感します。

すると、外国人と話す不安がなくなり、自信が湧き上がります。

ですから学んだ英語を練習したいときはマンツーマンレッスンには行く必要がありません。

リアルで外国人と話す機会を掴み、いつでも気軽に練習できます。

あなたの英語はもう教室に縛られません。

外の世界で本物のコミュニケーション力を養いながら、

外国人の観光客を手伝いながら、

外国人の友達を作りながら、

世界と繋がりながら、

楽しく自然に身につけるのです。

こうするとあなたもコネクターになります。

コネクターになるための第2のステップ  
「正しいかどうか」ではなく、  
英語で伝えたいこと、  
やりたいことができる方法を学ぶ

コネクターの  
片山ユキ

私は英語学習を始めたおかげで海外ひとり旅の楽しさを知りました。  
旅先で現地の人と少しでも話せたら、その体験は強く印象に残り☑。

そしてその町を好きになり☑。同じような楽しさを日本に来られた  
international peopleにも味わってもらいたいです。

私は阪神間に住んでい☑。

直近では地下鉄梅田駅でインドネシア？マレーシア？

人らしきツーリストに海遊館（水族館）への行き方を教えました。

# まとめ

ここで学んだ情報がたくさんあるので、  
わかりやすくまとめさせていただきました。

- ①従来の日本の英語教育は効果がない。新しい勉強法が必要
- ②新しい勉強法を使って、リアルで外国人と実際に話せている  
「コネクター」という日本人がどんどん増えている
- ③コネクターになるために、2つのステップがある
- ④1つ目のステップ：自分の英語に対する考え方を変える
  - 単語や文法ではなく、メッセージを伝える方法にフォーカス
  - 「何を伝えたいか」「どんなことをやりたいか」から考えて学ぶ
- ⑤2つ目のステップ：リアルで英語を使えるようになる練習法を  
実践
  - 最初からコミュニケーションを取ろうとする
  - リアルですぐに試してみる

この2つのステップに従えば、あなたの英語が自由になります。

あなたはもう外国人と楽しく話すことを夢でしかみれないような英語学習  
を無理に続ける必要はありません。

今日から始められるのです。

今から始められるのです。

世界があなたを待っているのです。

## 英語学習から補助輪を外しませんか？

第1のステップは簡単にできそうかもしれません。

質問の仕方を変えるだけです。でも第2のステップは？

「ちょっとハードルが高いな～」とと思っている方も多いと思います。

この2つ目のステップに従うかによって、コネクターになれるかどうかが決まります。

「リアルで使ってみる」というのは簡単ですが、具体的にどうやって始められるのでしょうか。

ただの迷惑になるんじゃない？

外国人と話したこともないのに、会話をしろなんてあり得ないんじゃない？

自転車から補助輪を初めて外した時と同じく、

かなり難しそうに見えます。かなり怖いです。転ぶかもしれないし、うまくいかないかもしれないし、間違えるかもしれません。

英語学習で「まだ話せない、単語をもっと勉強しよう」「完璧になったら話してみよう」とよく耳にします。

でもこれを自転車の例で考えてみると

「まだ乗れない、自転車に乗れるようにもっと動画を見よう」

「転ばなくなるまで乗って見ない」

という風になります。

## 日本人がやっと教室から解放され、 リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

こうするといつまでたっても教室から独立できない、お金や時間をかけるのにリアルで使える英コミ力が身につきません。

生の場面で英語を使うことは、夢でしかみれないままです。

でも違う方法があります。

補助輪を初めて外してからすぐに、数キロメートルの難しいレースをするわけではないですよ。

まずは1メートル、次は2メートル、3メートル。たまに親が自転車の後ろを軽く持ちながらサポートしてくれていたかもしれません。

この少しずつ前に進むことやちょっとしたサポートがリアルで自然に乗れる自分への「架け橋」になります。

リアルで自然に英語を話せる自分への「架け橋」もあります。

英語力がほとんどゼロでも

外国人と話したことがなくても

英語を10年間勉強してもリアルで外国人と話す勇気が湧き上がらなくても自転車と同じように少しずつ、リアルのコミュニケーションに慣れながら、外国人と話す自信を鍛えられる方法があります。

しかも、たった28日しかかかりません。

**あなたが自分の英語から補助輪を外し、リアルで外国人と話し、  
世界とつながるコネクターになりたい場合、**

**「リアルで外国人と話せる英語力を身につける28日」**

**をぜひご覧ください。**

**<https://iu-connect.com/guide-1>**



## コネクターの 横内博貴

I did it !!

I could talk “long time” with international peoples.

ホームで電車を待っていたところ、私の後ろに多くの荷物を抱えた外国からの旅行者の方が並ばれました。

私はこれはチャンスだと思い、it's so cold, isn't it?と格別な笑顔を添えて話しかけました。すると、Englandよりも寒いね、と話が帰ってきました。日本よりEnglandのほうが寒いと思っていたので、何も考えずに、本当？私はEnglandのほうが...と話しました。

それからは、お互いにこれから行くところ、行ったところ、食べたもの、温泉、新幹線、私のおすすめなどについて会話しました。10分くらいの会話だったと思います。別れ際には、it was very great timeとお互いにあいさつし、名前の交換をしました。

本当に素晴らしい時間を過ごせました。

なんとかなるもんだと実感しています。

私の場合、多分みなさんと同じで、最初のうちは「恐怖」しかなかったですね。間違えてしまったら？通じなかったら？と思うとそれだけで話かけることはできませんでした。

でも、Arthurのレッスンから勇気をもらって、恐怖はしだいに消えていきました。

日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

これで、本ガイドは以上となります。

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。

このガイドを読み終えるだけで満足しないでください。

ぜひここで学んだことを実践してみてください。最初は怖いと思いますが、諦めないでください。諦めない限り絶対にできるようになるんです！

一緒に、世界と繋がりましょう！

アーサーより

## このメッセージをシェア

このガイドがあなたのお役に立てたら、とても嬉しく思います。

このメッセージが広まり、より多くの日本人の方々がコネクターになれるように、このガイドをぜひSNSでシェアしてください。

オリンピックが2020年に来日します。その時までには準備をしないといけません。

一緒に外国人と実際に話せる日本人を増やし、日本の文化を世界へシェアしましょう。

### このガイドをFacebookでシェア

### このガイドをTwitterでシェア

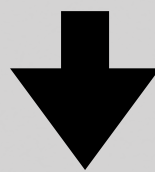
日本人がやっと教室から解放され、  
リアルで外国人と英語を実際に話せるようになる2つのステップ

## 次のステップ

僕はあなたのためにこのガイドを書きました。

なのであなたと仲良くなれたらとても嬉しいです！

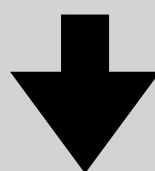
**リアルで外国人と話したいが、まだ難しいと思っている方**



**「リアルで外国人と話せる英語力を身につける28日」  
へお申込みください（クリック）**

**<https://iu-connect.com/guide-1>**

**外国人ともう話せて、コミュニケーション力を磨きたい方**



**IU-Connectのメールサークルへご登録ください（クリック）**

**<https://iu-connect.com/guide-2>**

また、このガイドで共感したところ、自分の体験談をシェアしたい場合、  
ぜひarthur@iu-connect.comまでご連絡ください。

メールをそれぞれ個人的に読ませていただきます。